



NPO
花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

Therapeutic Promotion Society for Pollinosis and Rhinosinusitis

VOL.8

ホームページ・リニューアルオープン記念号



NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

〈本部〉

〒113-0022 東京都文京区千駄木一丁目1-5
日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科内
TEL : 03-5814-6213 FAX : 03-5685-0830

〈事務局〉

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目396番地日
本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科内
TEL:044-733-5181(ext. 2251) FAX:044-711-8565

www.hanamizu.jp

本パンフは、NPOホームページからダウンロードもできます。

ご挨拶

—コロナ禍の中、ホームページのリニューアルオープン！！—
URL:WWW.hanamizu.jpは継続です。

平素よりわたくしどもNPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会の活動へのご理解とご支援を賜り誠に有り難うございます。ところで、昨年来のコロナ禍の厳しい状況は、わが国や世界を飲み込むかのような勢いで続いています。このパンデミックの一刻も早い収束には、安全で効果的な種々のワクチン開発とその地球規模での普及が「一条の光」といえるかもしれません。

これまで、花粉症対策や風邪罹患時など特別なスタイルであったマスク姿もコロナ禍の中すっかり新しい生活様式として定着しました。国民の約半数がスギ花粉症に罹り国民病ともいわれていますが花粉症はスギだけではなく、ブタクサやイネ科などの草の花粉症やハウスダスト・ダニアレルギーでお困りの皆様も増加しています。さらに、鼻症状をひきおこすもう一つの病気として副鼻腔炎、いわゆる“ちくのうしょう”に悩む方も少なくありません。このコロナ時代において花粉症やアレルギー性鼻炎の対策は、その存在が顕著でも対策と対応についていろいろな質問が寄せられています。

NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会は設立して8年目になりました。この間、市民公開講座開催を中心に微力ながら啓発活動や研究支援等に取り組んでまいりましたが、コロナの時代にあって従来のスタイルで活動を継続することが難しくなってきました。そこで、今回ホームページをリニューアルし、動画（YouTube）を積極的に取り入れつつ連動したコンテンツの更新と充実にも努め、情報発信力を高めることに挑戦して参ります。「進化するホームページ&動画」をめざしたいと思います。これまで以上にわかりやすく「鼻の病気」についての情報を市民の皆様にお届けしてまいります。当NPOの理念である社会貢献活動の精神を大切に、皆様の健康に少しでもお役に立てれば幸いです。



ホームページ [https:// hanamizu.jp](https://hanamizu.jp)

2021年4月

特定非営利活動法人
花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会
理事長 大久保公裕



NPO活動

今年度は、コロナ禍の影響によって様々な活動が制限されてしまいました。
来年度は、積極的に活動していきたいと思っておりますのでご支援よろしくお願いたします。

● 幻となってしまったアレルギー週間「第7回 花粉症市民講座」

第38回 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会はコロナ禍により延期となり、学会と連動して行う予定でした第7回花粉症市民講座は、残念ながら中止となりました。以来、花粉症市民講座は開催できておりません。

第38回 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会中に横浜開催！テーマ 花粉症治療最前線 ~SNSデータで花粉症と戦う！~

日時 2020年(令和2年)2月29日(土)

場所 パシフィコ横浜 会議センター 5階501会議室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 電話 045-221-2155 (総合案内)

共催 特定非営利活動法人(NPO)花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

第38回 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

公益財団法人 日本アレルギー協会 関東支部

〈予定されていた講座内容〉

基調講演 「今年度の花粉症、最新の話題」

大久保公裕 (日本医科大学大学院 頭頸部・感覚器学 教授)

招待講演 「つぶやきが見守る健康社会」

荒牧英治 (奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構ソーシャル・コンピューティング研究室 特任准教授)

● NPO定期役員会・総会

日時 2019年(令和元年)8月18日(日) 18時30分~19時

場所 ステーションコンファレンス万世橋

内容 第6期(平成30年7月1日~令和元年6月30日)決算・事業報告了承

第7期(令和元年7月1日~令和2年6月30日)決算・事業計画承認

※コロナ禍により「書面開催」に変更となりました。

● 第9回神奈川気道炎症病態研究会 (代表世話人 松根彰志)を支援

日時 2020年(令和2年)10月3日(土)

場所 TKPガーデンシティ横浜2階ホールB

共催 神奈川気道炎症病態研究会

杏林製薬(株)

* 当NPOは開催準備を支援しました。

※コロナ禍により、「ハイブリッド開催」(現地参加+web聴講)となりました。

講演内容

座長 東海大学医学部 内科学系 呼吸器内科 教授 浅野浩一郎 先生

演題 病原性CD4 T細胞による肺線維化の分子・細胞機構・好酸球から真菌まで講師 千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学 准教授 平原潔 先生

座長 東海大学医学部 専門診療学系 耳鼻咽喉科学 教授 大上研二 先生演題

アレルギー性鼻炎の特徴と病態から考える治療戦略

講師 山梨大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 櫻井大樹 先生

※本講演は、日本耳鼻咽喉科学会専門医制度 領域講習(1単位)として開催されました。

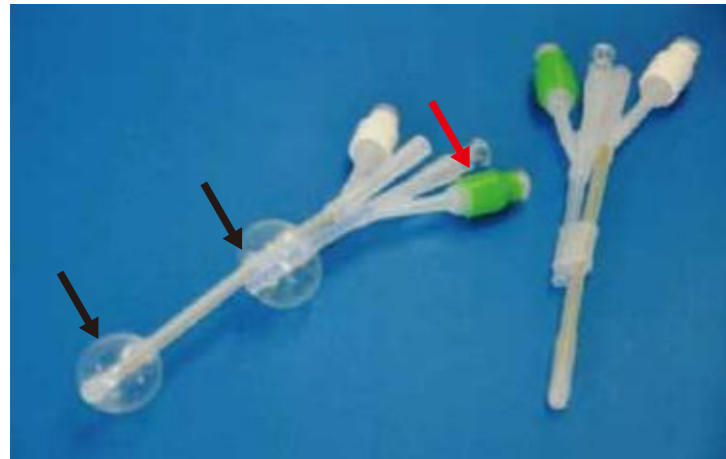


● 副鼻腔炎に対する外来通院でのカテーテル (写真) 治療

写真のような2か所にバルーン (写真上の黒矢印) の付いたカテーテル (ダブルバルーンカテーテル) を用いて、外来通院で副鼻腔炎 (蓄膿症) の治療を行います。ダブルバルーンを膨らませて「鼻腔の入り口」と「奥ののどにまわる手前の部分 (2か所) をブロックしてふさぎます。赤矢印のチャンネルから、炎症を鎮めるための薬を混ぜた生理食塩水を注射器で鼻腔内経由で副鼻腔に置換注入あるいは洗浄を行います。このようにして、蓄膿がたまりやすい副鼻腔の中をきれいにして症状をとります。

適応としては、①急性の副鼻腔炎 (蓄膿症) で頬部や頭痛・頭重が辛い時、②好酸球性 (難治性) 副鼻腔炎の術後症例で鼻・副鼻腔局所への薬液 (ステロイドなど) 局所注入・洗浄で外来通院治療を行うとき。などに活用しています。これらは、いわゆる「保険診療」です。カテーテルを用いた実際の使用風景は、当NPOのホームページ (<https://hanamizu.jp/topics/news/629/>) で動画upしていますので、ぜひご覧ください。

文責 NPO事務局 松根彰志



商品名 EntDib カテーテル (シリコン製、日本製)
株式会社 ディヴィンターナショナル
東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル14F

● 日本アレルギー性鼻炎標準QOL調査票 (JRQLQ) の著作権等につきまして

既にお知らせしておりますが、当NPOの顧問、理事をお勤めいただいた故奥田 稔氏のご遺志により、現在臨床研究や臨床試験で広く使われております日本アレルギー性鼻炎標準QOL調査票 (JRQLQ) (写真) は、今後当NPOで引き継いで管理していくこととなりました。

JRQLQのご使用に関しましては、医師または医療機関主導による研究目的でない場合はいわゆる「営利目的」またはそれに準ずる扱いとなり、使用規定を承諾いただいた上で「申し込み」と「契約」が必要です。また料金もお支払いいただくことになります。医師または医療機関主導による研究目的の場合は、コンプライアンス上「書類による申し込み手続き」が必須ですが無償でお使いいただけます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

<本件のお問い合わせ>
NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 本部
(日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科内、大久保公裕)



「花粉対策の日」、「アレルギー週間」、「鼻の日」のご紹介

◆ 1月23日 「花粉対策の日」 JAPOC

当NPOが医療サイドからのアドバイザー参加をしております花粉問題対策事業者協議会 (JAPOC: Japan Anti-pollinosis Council) が提唱し、一般社団法人「日本記念日協会」が認定した記念日です。その趣旨は「花粉症にはワン・ツー・スリーの対策を！」ということで、以下の3項目がその内容です。詳しくは、URLをご覧ください。
(<http://www.kafunbusiness.org/step>)

ワン: 花粉対策は、花粉飛散日にかぎらず早め早めの対策が必要です!

ツー: 花粉対策は、スギ花粉飛散が多くなる1月・2月・3月の時期に適切におこないましょう!

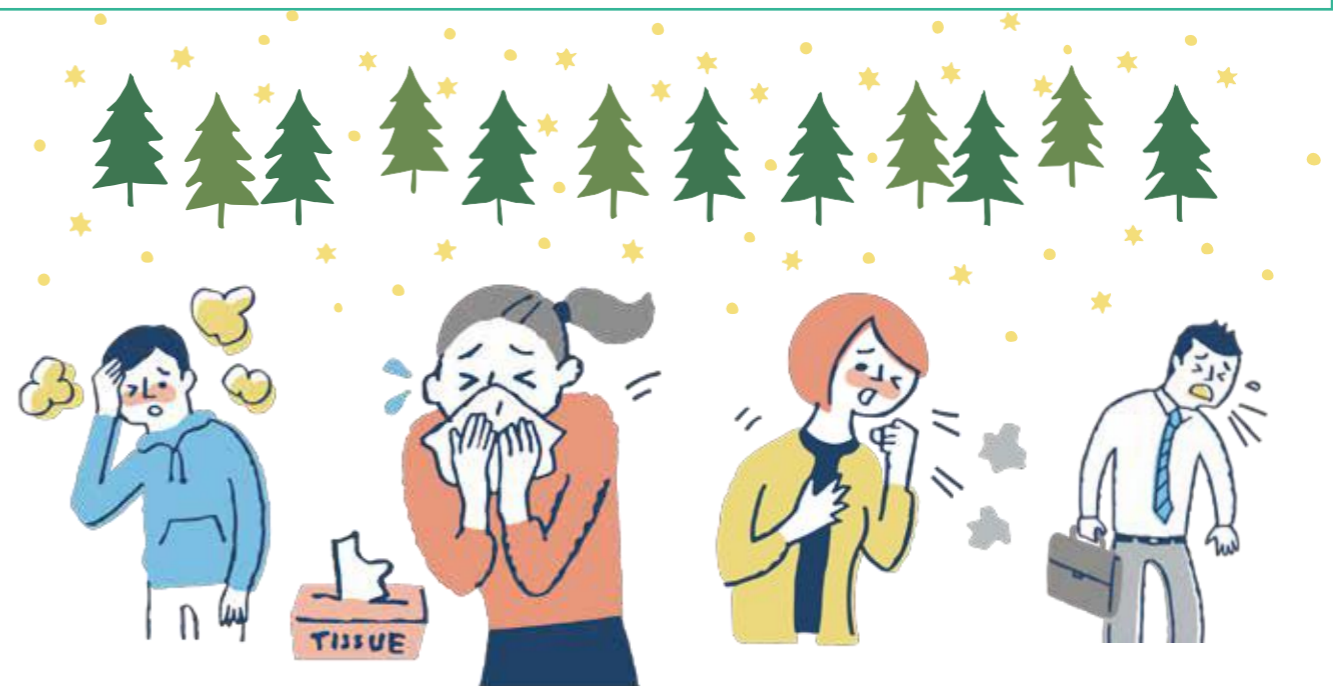
スリー: 花粉対策は、いろいろな手段を総合的に組み合わせておこないましょう!

◆ 2月17日~2月23日 「アレルギー週間」 日本アレルギー協会

公益財団法人日本アレルギー協会により1995年(平成7年)以来、毎年2月17日~2月23日を「アレルギー週間」とすることが定められました。石坂公成先生がIgE抗体を発見し、米国のアレルギー学会で発表された2月20日を「アレルギーの日」と制定し、その前後1週間(毎年2月17日~23日)を「アレルギー週間」として様々な活動を行っています。東京でのアレルギー週間中央講演会をはじめ、全国の支部で一般の方を対象に様々な催しを行っています。

◆ 8月7日 「鼻の日」 日本耳鼻咽喉科学会

一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会では1961年(昭和36年)以来、毎年8月7日を「鼻の日」と制定して鼻疾患に対する啓発を行っています。制定当時は副鼻腔炎 (蓄膿症) の患者さんが多く、社会生活や学業に大きな影響を与えていたので、この疾患の早期発見、早期治療を勧めることを目標にしていました。副鼻腔炎は、軽症化の傾向にありますが、依然、頻度としては多い疾患です。幸い薬剤の進歩や内視鏡手術の普及により治癒率が向上しています。一方、スギ花粉症などのアレルギー性鼻炎は、近年さらに頻度が上昇しており、国民病とまでいわれるようになってきました。また、においの障害は生活の質 (QOL) と関連して大きな問題ですが、まだまだ社会的認知が十分でない状況です。



花粉症について教えて!

花粉症について役に立つ情報を、専門家の先生方にお伺いしてみました。わかりやすく解説していただきましたのでぜひ参考にさせていただきます。

第1回:夏のお天気で、翌年のスギ花粉飛散量がわかる?!

インタビューア: 大久保理事長

夏のお天気などで翌年のスギ花粉の飛散状況の予測がある程度できるとのお話があります。これは、スギ花粉症でお困りの多くの皆様にとっても役立つ情報です。この分野で第一人者の村山先生にいろいろお伺いしたいと思います。村山先生、宜しくお願いします。

Q1. スギ花粉症は飛散するスギ花粉の量により変動しますが、予想は出来るのでしょうか?

村山先生: スギ花粉は6月から7月に花粉を作る雄花が成長を始めます。特に成長を始める6月の日照時間が雄花の数(花粉数)に最も影響し、7月の日照時間がその成長に影響します。日照時間と翌年春の花粉数の関係を調べることによって予測が可能です。

Q2. たとえば2022年の花粉量などはいつ頃分かりますか?

村山先生: 各地の6月と7月の日照時間が分かれば計算が可能になりますから、早ければ8月中旬に予想ができます。8月になるとスギの雄花が肉眼で見えるようになりますから、スギ林で実際の雄花の数を確認して予想を出していますので、8月末になります。

Q3. 実際の2022年の花粉量ですが、今のところの予想などお聞かせいただけませんか?

村山先生: 2021年の6月から7月は、前線が本州の南岸に停滞しやすく太平洋側の地方では日照時間が平年よりやや少なく、日本海側ではやや多くなる見込みです。このために2022年の花粉数は日本海側の地方で平均よりやや多く、太平洋側でやや少くなる見込みです。やや少ないと言っても数千個の花

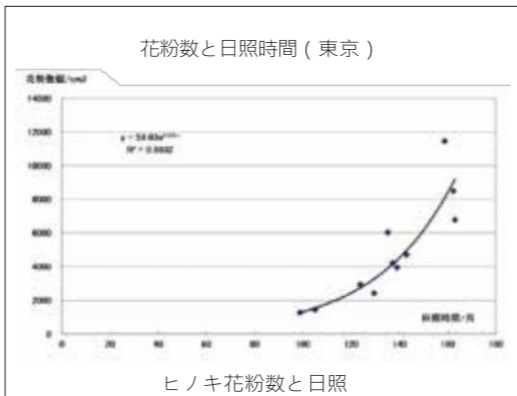
Q4. ヒノキの花粉飛散も分かるのですか?

村山先生: ヒノキの花粉もスギ花粉と同様に6月から7月の日照時間を使って予想が可能です。ただ、ヒノキ花粉は前年に花粉が少ないと同じような気象条件でもより多くの花粉が作られる傾向があります。このために前年の花粉数も考慮して予測をしています。

Q5. 今後10年先、20年先のスギ・ヒノキの花粉飛散はどのように変わっていくと予想されますか?

村山先生: スギの花粉は樹齢が30年前後からピークになります。現在は95%以上のスギ林が樹齢30年以上ですから今後数十年は極端な冷夏にならない限り花粉が多い状態が続く見込みです。一方、ヒノキは主例が60年から80年くらいまで花粉が増え続けると考えられています。ヒノキ林の樹齢は現在50年から60年のものが多く今後20年くらいは増え続ける見込みです。なお、温暖化によって気温が現在より2度以上高くなるとスギ・ヒノキは生育に最適な気候ではなくなり、花粉数も減少するでしょう。

本日はご多忙のところ有り難うございました。村山先生には、当NPOの第1回花粉症市民講座でご講演いただきました。今後ともたくさんご教授いただければ有り難いです。先生の益々のご活躍をお祈りしております。



第2回: SNSつぶやきデータから花粉症受診数を予測する!

インタビューア: 松根副理事長・事務局長

本日は、花粉症対策上、皆様にとっても手軽で役立つシステムの研究に取り組んでおられる荒牧先生にお話をおうかがいします。荒牧先生、宜しくお願いします。花粉症関連のつぶやきの増加は、下記グラフで明らかですが、「花粉症患者の受診数の増加」次に「本格的な花粉飛散の到来」の流れに先行する重要な指標になるようです。

Q1. 最近、スギ花粉のエリアごとの飛散予測などがネット上で見るのですが、SNS上のつぶやき活用の特徴は、何でしょうか?

荒牧先生: 人間の行動を直接、測っている点の特徴です。みなさんのお住まいの地域で花粉が飛散すると何らかの対策を取られる方も多いためです。その際、花粉症に関する何かをつぶやかれる方もいるかもしれません。つぶやきからは、その人々の行動を知ることができます。

Q2. 広いエリアの予測より、生活やお仕事と直結した狭いエリアの状況を知りたいとのニーズに応えられますか?

荒牧先生: 残念ながら難しいです。多くのSNSでは、位置情報の発信の有無を選択できますが、多くの方は位置情報を発信しないようにしています。また、仮に位置情報を利用できた場合でも、人が少ない場所では個人が特定されてしまうという個人情報の問題も心配しなければなりません。このため、現在多くのSNSアプリケーションでは県単位での集計にとどまっています。

Q3. 医療のみならず、エリアごとの花粉症関連商品の販売、在庫管理等にも役立つように思いますがいかがでしょうか?

荒牧先生: 可能です。というのは、つぶやきも商品の購入も人間の行動という点では同じですから、両者は近い動きをする場合があります。実は、今もある商品にあるつぶやきの頻度が使えないかを検討しているところです。

Q4. 対象のつぶやきのキーワードを変更することで、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症など幅広く活用できる融通がきくシステムではないでしょうか?

荒牧先生: はい。インフルエンザのように人々に馴染みのある疾患には使えると思います。ただ、新型コロナウイルス感染症のように社会問題になるほど、話題になりすぎていると、実際の患者さんに関連した情報は見えづらくなってしまいます。

近い将来、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくると、新しいバロメーターとなりうるかもしれません。

Q5. システムの実用化の見通しやプランなどはいかがでしょう?

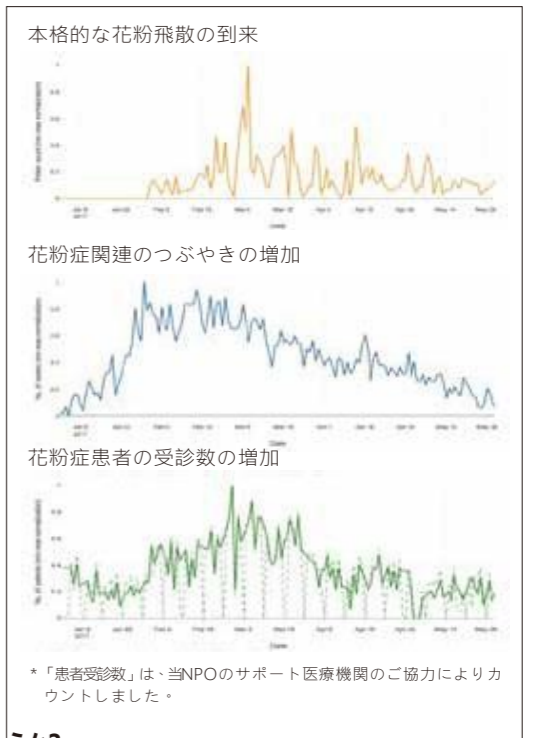
荒牧先生: つぶやきなどSNSが社会の新しいインフラとして定着しつつあります。SNSの特徴は、まわりの人々の反応がわかること、コロナ禍で街にでる機会が減ってしまっても、人々の行動や考えが分かります。ぜひ、みなさんの情報のチャンネルの1つとして参考にしてみてください。

本日はご多忙のところ有り難うございました。当NPOとしましても、今回の共同研究を踏まえ先生の開発されたシステムを活用して、花粉症などのフィールドで社会に役立つものを立ち上げられたらと思います。先生のご研究の益々のご発展をお祈りしております。

共同研究の成果は、以下のような国際的な論文として発表されました。

Wakamiya S, Matsune S, Okubo K, Aramaki E.

Causal Relationships Among Pollen Counts, Tweet Numbers, and Patient Numbers for Seasonal Allergic Rhinitis Surveillance: Retrospective Analysis J Med Internet Res. 2019 Feb 20;21(2):e10450. doi: 10.2196/10450.



〈村山貢司 先生 略歴〉

東京教育大学 農学部 卒業
1972年 日本気象協会入社
1996年 気象予報士資格取得(第1期)
2003年 財団法人気象業務支援センター入社 振興部専任主任技師
2020年 気象環境研究所主任研究員、気象環境サービス代表(現在に至る)

1987年4月より2007年3月 NHKの気象解説を担当
研究: 科学技術庁・文部科学省: 「花粉症克服に向けた総合研究」 研究班班長2009年~2015年 など多数
著書: スギ花粉のすべて メディカルジャーナル社(1995年) など多数



〈荒牧英治 先生 略歴〉

2000年 京都大学総合人間学部基礎科学科卒業
2002年 京都大学大学院・情報学研究科 修士課程修了
2005年 京都大学大学院・情報理工学系研究科・博士課程修了・博士(情報理工学)
2020年 奈良先端科学技術大学院大学(NAIST) 先端科学技術研究科 ソーシャル・コンピューティング研究室 教授(現在に至る)

謝 辞

今回も多くの企業様、団体様は特定非営利活動法人(NPO)花粉症・鼻副鼻腔治療推進会の活動をご理解、ご賛同いただきありがとうございます。お陰様で「花粉症市民講座」の開催、従来からのホームページの運営、2017年からのホームページのスマートフォン対応などなど、紙面でご報告させていただいている活動を行うことができている。ここに心よりお礼を申し上げます。感謝の意を込めまして、お名前を掲載させていただきます。(50音順)

今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NPO 理事長 大久保公裕

社会医療法人 翔和仁誠会
社会医療法人 正志会
社会医療法人 石心会

アステラス製薬
杏林製薬
サノフィ
SIEMENSヘルスケア
大鵬薬品工業
田辺三菱製薬
東京鼻科学研究所
東京臨床薬理研究所
鳥居薬品
バイエル薬品
Meiji Seika ファルマ
モリタ製作所

令和3年7月末日現在

企業広告

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

www.astellas.com/jp/


明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬株式会社

未来へ。もっとその先へ。

挑戦は、止まらない。

健康はキョーリンの願いです。

 **Kyorin**
キョーリン製薬グループ

キョーリン製薬ホールディングス

キョーリン製薬

キョーリンリメディオ

キョーリン製薬グループ工場

<https://www.kyorin-gr.co.jp/>



Empowering Life

サノフィは、ヘルスジャーニー・パートナーとして、
私たちが必要とする人々に寄り添い支えます。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー www.sanofi.co.jp

3
SANOFI

いつもを、いつまでも。

あたり前のようにつづく毎日ほど、
力「けがえのないものはない。
私たちは、「いつも」を支える力になりたい。
大切な「いつも」が失われた時、
強く取り戻す力を届けたい。
いつもを、いつまでも。
私たち大鵬薬品ひとりひとりの願いです。

e 大鵬薬品



3gAllergy*

Setting New Standards In Allergy Testing

www.siemens-healthineers.com/jp



SIEMENS...
Healthineers

KAITEKI Value for Tomorrow
三菱ケミカル ホーUマヤンクスグループ

田辺三菱製薬

この手で、
未来を。

感じる描く動かす
創る育てる届ける
そして抱きしめる

健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。
www.mt-pharma.co.jp

つーんとしない 鼻 驚 浄 暑 \ ナ ク リ ー ン

ハンディタイプ
手軽な鼻洗浄に

スタンダードタイプ
本格的な鼻洗浄に



1回
150m

ボディ
プッシュ

ハナクリーンs
3 950 円 (税抜)



1回
300m

ピストン
ポンプ

ハナクリーンa
8 500 円 (税抜)



ハナクリーンば決適な鼻洗浄の3条件を備えた鼻洗浄器。
副鼻腔炎や後鼻漏の補助的療法としてもオススメです。

Since
1979

株式会社 東京鼻科学研究所
〒152-0004 東京都目黒区鷹番 2-10-7
03-3792-2460

鼻洗浄動画 公開中!

ハナクリーン動画




“健康”という名の“しあわせ”を守りたい

一人でも多くの人に健康としあわせをお届けしたい。
それは創業以来140年… わたしたちの変わらぬ想いです。
わたしたちは良き医薬品の提供を通じて
患者様へしあわせを届けるお手伝いをしています。

 **鳥居薬品株式会社**
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町 3-4-1
<http://www.torii.co.jp>

未来のために手をつなごう
第I相臨床試験から特定臨床研究



全ては健康を願う人々のために

株式会社東京臨床薬理研究所 <https://www.trcp.co.jp/> 東邦ホールディングス グループ企業
〒160-0017 東京都新宿区左門町 20 番地 四谷メディカルビル TEL: 03-5366-3417(代表) FAX: 03-5366-3457



より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、
革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。
医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://byl.bayer.co.jp/>



Science for a better life

PR-GEN-JP-0061-03-07

meiji

守るとは、挑むこと。

大切なものは、何ですか。

見つめる。支える。寄り添う。誓う。

大切なもののために、できることのすべてを。

私たちがMeiji Seika ファルマは、
ワクチンによる予防から抗菌薬による治療まで
幅広いラインアップで、世界の感染症に挑み続けます。
これからも、ずっと。

Meiji Seika ファルマ株式会社



**NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会
パンフレット第8号**

編集責任者 松根彰志

U R L <https://hanamizu.jp>

発行日 2021年7月31日

印刷所 エヌ・ピー・エフ株式会社(東京都港区)

U R L <http://www.npfros.co.jp>

Thinking ahead. Focused on life.

MORITA

3D Accuitomo



80μm スライス実現 3DCT 高精細
 高空間分解能(2.0 LP/mm以上)
 小照射野撮影のための自動位置づけ機能
 単純撮影モードを搭載
 単純撮影からCT撮影へ簡単移行



画像例(Φ170×120mm)

販売名: 頭部用X線CT診断装置 3D Accuitomo 一般的名称: アーム型X線CT診断装置 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 認証番号: 215006Z00390000
 製造販売: 株式会社モリタ製作所 京都市伏見区東浜町680番地 〒612-8533 TEL 075-611-2141
 販売: 株式会社モリタ製作所 医療機器部 京都市伏見区東浜町680番地 〒612-8533 TEL 075-605-2323 FAX 075-605-2355
 株式会社モリタ製作所 営業所: 東京、大阪、埼玉、豊和、福岡 海外拠点: フランクフルト、ロサンゼルス、シンガポール、ジャカルタ

www.jmorita-mfg.co.jp e-mail: jm-med@jmorita-mfg.co.jp